

# 角館

# のお祭り

令和7年 9月7日(日)・8日(月)・9日(火)



**◆お祭りの解説**

**山車(曳山、やま)** 祭の「余興」として出されたものですが今では祭の主役のようになっています。古くは薬師堂の祭に付いたものといわれています。

**上りやま** 目的の地(神明社、佐竹北家、薬師堂)へ向かうときの曳山をいいます。囃子は重々しく、ゆったりとしたセーヤードンという囃子です。

**下りやま(道中)** 目的の地で参拝、お見せした後の帰りの曳山をいいます。囃子は、ペレレ、ペレレと軽いテンポで、道中ともいいます。

**交渉(こうしょう)** 曳山が丁内に入るとき、曳山と曳山が出合ったときに交渉といって黄色いタスキをかけた曳山の交渉員が挨拶と話し合いをします。曳山では重要な役目で交渉状況により道をゆずることになります。

**張番(はりばん)** 各丁内に設置され、神明社と薬師堂の御輿を迎えて町内の安全、加護をお祈りするとともに、曳山の出入りの許可や町内でのトラブルの交渉にあたります。各丁内とも年番組織で運営をしています。昔は自丁内の曳山の動きもここから指揮しました。

<p>味噌・醤油・漬物</p> <p>本店 / 仙北市角館町下新町27 TEL0187(53)2008 FAX0120(980)080</p> <p>北浦本館 / 仙北市角館町雲然山崎42-1 花上庵 / 仙北市角館町表町下丁8</p> <p>http://www.andojiyozo.co.jp</p>	<p>角館 木工・木型 彫刻造形 祭典人形</p> <p>kakunodate.com</p>	<p>好みの蒸留酒を樽で熟成。</p> <p>田鉄産業 有限会社</p> <p>仙北市角館町下菅沢110-1 TEL.0187-54-4011</p>	<p>穂樽</p> <p>角館 たいやん</p> <p>仙北市角館町駅通り TEL 0187-54-2367</p>
<p>秋田地酒、民芸品の店</p> <p>樹の下やよしなり</p> <p>祭典用箱入お酒販売中</p> <p>角館町表町下丁 TEL0187-55-4133</p>	<p>仙北市商工会</p> <p>〒014-0327 秋田県仙北市角館町上野新町43-1 TEL 0187-54-2304 FAX 0187-54-2305</p>	<p>秋田 角館 INAHO</p> <p>無添加のこだわり</p> <p>料亭 稲穂 食堂 いなほ</p> <p>http://www.inahoh.com TEL.0187-54-3311</p>	<p>株式会社 おもてなしせんぱく</p> <p>秋田県仙北市角館町西長野古米沢 30-19</p> <p>ご宿泊・各種ご宴会承ります</p> <p>祝祭典 花葉館 TEL 0187-55-5888</p> <p>西本温泉 ひれあひつら クリオン TEL 0187-47-2010</p> <p>湯ったり日帰り入浴 東風の湯 TEL 0187-43-2133</p>
<p>わいわい酒蔵 土留人</p> <p>TEL 0187-52-1703</p>	<p>手打そば お祭りは冷たい肉そば</p> <p>野の花庵</p> <p>角館町上野139-4 TEL0187-54-3787</p>	<p>電気設備工事施工</p> <p>角館 電工(有)</p> <p>角館町川原堂ノ沢26番地1 TEL 54-2432 FAX 54-1889</p>	<p>元祖極地の比内地鶏親子丼が食べられる店</p> <p>桜の里 本店</p> <p>〒014-0325 秋田県仙北市角館町東湯澤丁9 TEL0187-54-2527 FAX0187-53-3767</p> <p>〒014-0323 秋田県仙北市角館町横町27 TEL0187-53-3003 FAX0187-53-3767</p> <p>http://www.sakuranosato.net</p>
<p>ぐらしに合ったちょうどいいを</p> <p>あぐい</p> <p>●食べきりでちょうどいい ●美味しいものを食べたいだけ</p> <p>グランマートは、あんべいい商品をご提案しております。</p>	<p>Wonder Mall</p> <p>ワンダーモール</p> <p>仙北市角館町上菅沢442-1 TEL0187(54)1600</p> <p>食料品売場 朝9時～夜10時まで営業 衣料品売場 朝9時～夜 9時まで営業</p>	<p>角館校皮細工センター</p> <p>たてつ</p> <p>KABAZAIKU</p> <p>お土産処、史料館、着物体験</p> <p>〒014-0318 秋田県仙北市角館町中町25 TEL.0187-55-1320</p>	<p>角館武家屋敷</p> <p>青柳家</p>
<p>仮設工事・鷹・土木工事</p> <p>菅原建設 有限会社</p> <p>代表取締役 菅原 清平</p> <p>仙北市角館町雲然上町屋158-11 TEL 54-4338 FAX 55-4310</p>	<p>西部 若者</p> <p>スガワラショップ</p> <p>清酒 西部若者 販売元</p> <p>TEL 0187-55-2242</p> <p>ワインや贈り物の贈り方もお任せください</p>	<p>木のぬくもりで未来を創造する</p> <p>株式会社 黒澤製材所</p> <p>〒014-0354 秋田県仙北市角館町水ノ目沢 79-1 TEL 0187-53-2504 FAX 0187-53-2505</p>	<p>祭り装束</p> <p>お祭りっ子御用達</p> <p>かみう屋</p> <p>仙北市角館町岩瀬町 TEL / FAX 0187-53-2413</p>
<p>株式会社 松本印刷</p> <p>〒014-0041 秋田県大仙市大曲丸字町1-21 TEL 0187-63-1450 FAX 0187-63-1627</p>	<p>確かな技術を誇りに</p> <p>TAKI GAMI</p> <p>株式会社 瀧神巧業</p> <p>〒014-0372 秋田県仙北市角館町小館54 TEL.0187-54-2711 FAX.0187-54-2710</p>	<p>マナーを守り楽しい釣りを!!</p> <p>角館漁業協同組合</p> <p>〒014-0346 仙北市角館町川原中道41 中川コミュニティ内</p>	<p>LAWSON</p> <p>角館岩瀬店 55-1107 角館武家屋敷店 53-3707</p>
<p>東北労働金庫 大曲支店</p> <p>TEL 0187-63-4100</p>	<p>パソコンサポート</p> <p>ホームページ制作</p> <p>infotech 有限会社 インフォテック</p> <p>フリーマガジン Sぶれっそ</p> <p>〒014-0369 角館町上菅沢458-1 0187(52)1144</p>	<p>地酒販売。計り売りのお茶屋</p> <p>鈴竹商店</p> <p>角館町中町9 TEL54-2201</p>	<p>建設機械・仮設・什器備品・保安用品</p> <p>販売・レンタル・サービス</p> <p>株式会社 ほくとろ</p> <p>本社 / TEL(0178)21-1513(代) FAX(0178)21-1514 秋田支店 0186-638-4755 横手支店 0182-33-6351 大曲支店 0186-478-7505 大館支店 0187-68-2080 大館支店 0186-48-1833 本庄支店 0184-24-0117 鹿角支店 0186-30-3101 鶴巻支店 0182-33-6351</p>
<p>一般社団法人 仙北市農山村体験推進協議会</p> <p>〒014-0392 秋田県仙北市角館町菅沢81-8 TEL 0187-43-2277 FAX 0187-55-1515</p>	<p>ALSOK秋田株式会社</p> <p>本社 TEL 018-888-2300 大仙支社 TEL 0187-63-8199</p>	<p>Kanadevia</p> <p>Technology for people and planet</p> <p>2024年10月1日 日立造船はカナデビアに社名変更しました。</p>	<p>田沢湖 角館 観光協会</p> <p>TAZAWAKO KAKUNODATE</p> <p>https://tazawako-kakunodate.com/</p>
<p>ダイナムゆったり館</p> <p>中仙店</p> <p>秋田県大仙市下野野字上中嶋51番地 TEL0187-52-0661</p>	<p>有限会社 村田弘建築設計事務所</p> <p>代表取締役 村田 良太</p> <p>秋田市八橋三和町18番15号 TEL (018)823-4345 http://www.mrt-arch.co.jp</p>	<p>宿泊 日帰り入浴 お食事</p> <p>あきた芸術村</p> <p>温泉 ゆぽぽ</p> <p>TEL0187-44-3333</p>	<p>仙北市田沢湖観光情報センター フォレイト</p> <p>〒014-1201 秋田県仙北市田沢湖保内字男坂68 TEL.0187-43-2111 FAX.0187-43-2077</p> <p>仙北市観光情報センター 角館駅前</p> <p>〒014-0369 秋田県仙北市角館町上菅沢394-2 TEL.0187-54-2700 FAX.0187-54-1755</p> <p>西木観光案内所</p> <p>〒014-0516 秋田県仙北市西木町小山田字八津249-1 TEL.FAX.0187-42-8480</p>

協賛ありがとうございます



ドローンの飛行・撮影は、交通規制区域内全面禁止です。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

全車両通行止め区間

黄色エリア 10:00~19:00

緑色エリア 10:00~24:00

曳山運行の妨げとなりますので、交通規制解除後も路上駐車・停車はご遠慮ください。

佐竹北家上覧 飾山囃子コンクール 9月8日/10:00~17:30

仙北市条例で伝建群(武家屋敷通り)地内の路上は、喫煙・ゴミのポイ捨てが禁止です。ご協力をお願いします

ユネスコ無形文化遺産 秋田の登録行事 曳山・屋台ミニチュア展 角館郵便局ギャラリー 9月1日~9月10日

薬師堂参拝 9月8日/16:00~24:00

工事のため、終日車両通行止め

町内全域駐車禁止

- WC 常設トイレ
臨時トイレ
身障者用トイレ
禁煙
タクシー乗り場
特設舞台
大置山設置カ所
コンビニ
無料駐車場
有料駐車場

この線で折ってご利用ください。

ドローンの飛行・撮影は、交通規制区域内全面禁止です。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

全車両通行止め区間

黄色エリア 10:00~24:00

緑色エリア 10:00~26:00

曳山運行の妨げとなりますので、交通規制解除後も路上駐車・停車はご遠慮ください。

仙北市条例で伝建群(武家屋敷通り)地内の路上は、喫煙・ゴミのポイ捨てが禁止です。ご協力をお願いします

ユネスコ無形文化遺産 秋田の登録行事 曳山・屋台ミニチュア展 角館郵便局ギャラリー 9月1日~9月10日

薬師堂参拝 9日/10:00~23:30

工事のため、終日車両通行止め

町内全域駐車禁止

- WC 常設トイレ
臨時トイレ
身障者用トイレ
禁煙
タクシー乗り場
特設舞台
大置山設置カ所
コンビニ
無料駐車場
有料駐車場

交通規制図のお問い合わせ先

- 観光情報センター「角館駅前蔵」 TEL0187-54-2700
仙北市観光課 TEL0187-43-3352
仙北市商工会 TEL0187-54-2304
仙北市文化財課 TEL0187-43-3384

# 令和七年「角館のお祭り」「曳山」一覧表

曳山丁内名	正責任者	副責任者	囃子方	人形外題	作者	解説
岩瀬若者一同	尾形 祐平	鈴木 和成 鈴木 孝史	祭 喜 会	義勇 関ヶ原 松尾山の場 ・大谷刑部吉継・小早川金吾秀秋	広目屋	石田三成率いる西軍と徳川家康率いる東軍が関ヶ原の地で激突する。莫逆の友である三成から共に戦って欲しいと懇願された吉継。無謀な戦いであると説くが、三成の堅い覚悟を知る。病身のため立つことがままならない吉継であったが、「義」を貫き通し友のために命をかけて出陣する。戦いの最中、東軍へ寝返った秀秋は松尾山より、吉継軍へ攻撃を仕掛けるがこれを予期していた吉継は持ち前の知略を発揮し、善戦する。天下分け目と名高いこの戦いで吉継は力の限りを尽くし、采を振るうのであった。
西部若者	阿部 龍哉	草薨 友彦 川村 翔太 小松 竜也	秋 月 会	鬼小島弥太郎 釣鐘奪還 ・鬼小島弥太郎・西法院赤坊主 南総里見八犬伝 芳流闘の場 ・犬飼現八・犬塚信乃 三方ヶ原の戦い ・武田信玄・本多忠真	文 伶	長尾虎千代は、幼少期に春日山泉寺で出家し、のちに上杉謙信となった。この泉寺の釣鐘を奪取されたのが越後に伝わる妖怪西法院赤坊主であった。赤坊主はその他にも悪行を行っていた。これを懲らしめるべく上杉謙信は、側近の家来である強力無双の豪傑で「鬼小島」とも呼ばれる小島弥太郎に釣鐘の奪還し退治を命じる。弥太郎は、単身泉寺に向かい死闘の末に赤坊主を退治し釣鐘を奪還したのである。のちに鬼小島弥太郎の武勇伝となった。
駅前若者	藤原 隆志	佐藤 義紀 藤原 一也 高橋 誠	秋 月 会	安房の里見家の危機を救うため伏姫の死後「仁」「義」「礼」「智」「忠」「信」「孝」「悌」の珠を持つ八犬士が活躍する物語で、互いに八犬士に連なる者であることを知らずには高橋の上で敵の間者(犬塚信乃)と捕り手(犬飼現八)として相戦う場面	葛谷流 駅前若者	
菅沢丁内若者	木村 幸誠	鈴木 誠 荒澤 勇希 青柳 光範	穂 月 会	元龜三年(一五七二年)、名將・武田信玄は西上作戦を開始し、徳川家康の領地・遠江に進軍。精強な軍勢で徳川・織田連合軍を圧倒した。三方ヶ原の戦いで、信玄が巧みな戦術と騎馬軍団を駆使し、家康軍を打ち破る。その中で徳川軍家臣・本多忠真は奮戦し、家康の退却を助けて討死した。信玄はこの戦いで武勇と知略を示した。戦国最強の名にふさわしいものとした。	菅沢丁内若者	
本町通の	佐藤 直也	大澤 伸 佐々木裕之	神代芸能保存 嬉 遊 会	天保水滸伝 大和根河原の決闘 ・平手造酒・飯岡助五郎 義経千本桜 蔵王堂花天會の場 ・佐藤忠信・能登守教経	広目屋	村の富豪・相撲の元祖である笹川繁蔵が勢力を増す頃、下総一帯に勢力を持っていた飯岡助五郎は土地を奪われ、危機感を持ち始めた。双方の子分どもが衝突し始め、ついには大和根河原で決闘が起きる。笹川の用心棒・平手造酒は大恩ある笹川に命を捧げようと全身紅く染め、報を接した。そのお陰も有り笹川優勢で勝敗は決した。総勢数百人という侯客が争うまさに大時代の様相を帯びた決闘であった。
駒通の若者	茂木 真人	加藤 康平	愁 明 会	主家を滅亡に導いた源氏の打倒を目論み、僧兵横川寛範として身を潜める能登守教経。一方、先の戦いで教経の放った矢により兄を失った佐藤忠信。互いを仇とする両者が吉野蔵王堂にて対峙する。忠信により追いつめられた教経であったが、間にいった源義経の影からいにより、平家の血を引く安徳帝が出家をし、母である建礼門院のもとに身を寄せることを告げられ、義経千本桜は大団円を迎える。	広目屋	
西勝察町若者	三浦 耕輔	高根 貞俊 佐藤 和行 井上 健太	秋 月 会	壇ノ浦兜重記 景清の牢破り ・悪七兵衛景清	文 峰	壇ノ浦の合戦で平家は滅亡した。源頼朝の命を密かに狙っていた平家の武将・悪七兵衛景清は土牢に捕らえられ押し込められている。源頼朝の家来である岩永左衛門と秩父重忠は、平家が隠したとされる宝物「青山の琵琶」と「青葉の笛」の在り処を景清に尋ねるが、口を割ろうとしない。そこで景清の妻である阿古屋と娘の八九を連れて来て、琴や胡弓を演奏させて宝物の在り処を探らうとする。しかし、これに激怒した景清は、柱を壊して牢を破って脱出し阿古屋と娘を連れて逃げる。岩永は追いつけようとするが秩父は頼朝から三度まで見逃せと指示されているため、景清を留め、景清と戦場での再会を約束して別れるのであった。
桜美町若者	柏木 文吾	小松 尚 茂木 智也 藤原 尚登	飾山囃子 弘道流 奏秋会	甲陽軍鑑 山中島の合戦 ・武田信玄・上杉謙信	葛谷流 桜雅会	甲陽軍鑑は戦国時代、軍事・戦略史の書として知られる。一五六一(九月一〇日)、妻女山に上杉軍の武田の別働隊が背後を突いて八幡原で待伏せする啄木鳥戦法をした武田軍だが、上杉軍は奇襲を見抜き夜中に妻女山を下山する。朝霧に紛れ八幡原へ先に到着した上杉軍は車懸の陣形で突撃。武田軍は鶴翼陣形で応戦し、その中で上杉謙信が陣幕へ突入し武田信玄と一騎打ちしたとされる。その後武田別働隊が反撃し両者は激戦。両雄引分けて戦いが終わった。
七日町丁内	荒木 大輔	千葉 博幸 谷藤 勝昭 荒木 永昭 島山 仲也	わらび座	前九年の役 厨川の戦い ・源頼義・藤原経清	小 松	平安時代後期、安倍氏は陸奥国を支配し、朝廷に反抗的な態度をとっていた。朝廷は源頼義を陸奥守に任命し安倍氏討伐を命じた。前九年の役における厨川の戦いは源頼義・源義家率いる朝廷軍と、安倍氏と大將とする安倍氏との間で繰り広げられた最終決戦であり、安倍氏の拠点である厨川柵が陥落し、安倍氏滅亡の決定的な要因となる。朝廷側から寝返った藤原経清は、頼義に苦しみ長引かせる為錆びた刀で斬首され、経清に対する頼義の恨みは相当に深かったと言われている。
中央通の	山谷 吉輝	高橋 寿史 米澤 凌介 小松 雅哉	奏雅扇舞会	鑑引 ・悪七兵衛景清・三保谷四郎国俊	広目屋	摩耶山の谷で景清と三保谷が出会う。その山中の観世音に幼い安徳天皇の病氣平癒祈願に代参した伏屋姫が持つ長刀と名鏡を、木鼠次段太が奪おうとして、誤って谷底に落とす。この二品を景清と三保谷が奪い合い、三保谷の鑑を引き合はすみに鑑はちぎれ、長刀は折れ、宝鏡は三保谷の手に落ちる。景清と三保谷が兜の鑑を引き合い、首の強さよ、腕の強さよと感嘆しあつたという古い伝説を再現した物語である。
横町若者	佐藤 亮迪	黒澤 賢太郎 高村 弘道 岡田 光	角館山本組	保元の乱 ・鎮西八郎為朝・大庭 景義	横町若者	自ら鎮西八郎と名乗り、その剛勇さで九州地方で勢力を得た源為朝は、父為義とともに保元の乱で崇徳天皇方に参加する。深夜、西門に攻めてきた大庭景義に対し、為朝は鎬矢を放ち左膝を砕く。後に「吾朝無双の弓矢の速者也」といわれる所以となった出来事である。最終的には相手方の後白河天皇が勝利するが、武士の台頭を促す重要な転換点となる戦いであった。
山根谷地町 旭会若者	小瀧 太郎	佐藤 広海 八柳 健太	穂 月 会	繪本太功記十段目 尼ヶ崎闘屠の段 ・武智十兵衛光秀・佐藤虎之助正清	広目屋	武智光秀は本能寺で主君、小田春永に夜討ちをかける。これを聞いた真柴久吉は備中の毛利勢と和睦を結び、急ぎ光秀討伐へ動く。舞台は光秀の母、卑月の住む尼ヶ崎の閑居。卑月は出陣する孫の十次郎と許嫁の初菊に祝言の杯をさせる。そこへ旅僧に化けた久吉が現れる。光秀は久吉を担ぐ竹槍を突き刺すが身代わりとなつたのは卑月だ。戦場から帰った十次郎は絶命し、卑月も歿する。進退窮まる光秀、そこで久吉と佐藤正清が現れ天王山での再会を約束するのであった。
北部丁内若者	佐川 陽介	田口 俊光 鈴木 悠平	夢 燈 会	積恋雪関扉 ・大伴黒主・小野小町姫	北部丁内若者	一面の雪に閉ざされた達坂山(おうさかやま)の関はなせか桜が満開。しかも樹齢三百年にあまる桜の花は薄墨色。先帝の忠臣と、怪しい閑守の男が関を守っていると、美しい小町姫が通りかかる。そのあと、傾城に姿を変えた桜の精も姿を見せる。四人が繰り広げるのは、王朝の政争を背景にした幻想的な恋と謀反の争いだった。
上新町若者	細川 栄太	黒澤 魁人 高関 大空	おやまばやし 清 友 会	大江山酒呑童子 ・酒呑童子・平井保昌	葛谷流 上新町若者	夜な夜な都に現れて女をさらうという大江山の鬼神を退治するため、源頼義は平井保昌と四天王を従えて、山伏姿に身を变えて大江山へと向かいます。やがて童子の姿で忽然と現れた酒呑童子は、勧められる酒が毒酒とも知らずに盆を重ね、舞を披露。酩酊した童子が奥の寝所へ引込込むと、酒呑童子にさらわれた瀧き女たちが現れ、頼義一行を襲撃(案内)。そこには鬼神の本性を現した酒呑童子が…。酒を好む酒呑童子が酔態しながら舞う愛らしい姿から一転、恐ろしい形相での激しい立廻りまで、洒落で豪快な舞台。
下岩瀬町若者	島山 勉	大石 道広 草薨 伸	神代芸能保存会 藤 原 組	山中島の合戦 八幡原の一騎打ち ・武田晴信・上杉政虎	甘町如月会	甲斐国の武田晴信が信濃国に侵攻して各地を制圧し、さらに北信濃に侵攻したことで越後の上杉政虎と軍事的に対立した。武田晴信と上杉政虎の対立は、北信濃の覇権を巡る戦いとなった。第四次の戦いは川中島の八幡原が、最大の激戦地になった。乱戦の最中、上杉政虎が手薄となった武田晴信の本陣に斬り込みかけた。政虎は床几に座る晴信に三太刀にわたり斬りつけた。武田晴信は床几から立ち上がり立ち上ると軍配をもらってこれを受けた。
東部若者	菊地 貴志	菅原 大樹 高橋 怜史	角館おやま囃子 櫻 義 会	茨木 綱館の場 ・茨木童子・渡辺 綱	東部若者	源頼光の四天王の一人である渡辺綱は羅生門で悪鬼の片腕を切り落とした。時の陰陽師、安倍晴明に七日間の謹慎(物忌)をしたほうがいと助言される。助言どおりに謹慎していた七日目、綱の館に叔母・真柴が訪れる。綱は叔母の懇願に負けていっけを破り館に入れてしまう。封印していた鬼の片腕を叔母に見せるところ叔母に化けていた茨木童子が本性を現す。戦いの末、茨木童子は腕を取り返し間に消えていくのであった。
大塚若者	高橋 徹	鈴木 勝 伊藤 朗人 山本 良平	郷土芸能 角館飾山囃子保存会	元禄忠臣蔵 御浜御懸綱豊御 ・富森助右衛門・徳川綱豊卿	大塚若者	時は松の廊下事件の1年後。舞台は甲府藩徳川綱豊卿の別邸、御浜御殿。次期將軍とも目されている徳川綱豊は、浅野家の再興と赤穂浪士の仇討ちとららが儀にかなっているのだらうと悩んでいた。そこへ赤穂浪士の富森助右衛門がやってくる。浪士たちの真意はどにあるのか。二人の対面、探り合い、心のふれあい、緊張感の中にも記憶の中にもとどまる美しさがある場面である。
山原町若者	竹内 賢承	橋本 幹也 野中 雅史 青柳 宗康	角館お山ばやし 扇 栄 会	北の関ヶ原 慶長出羽合戦 ・直江兼続・最上義光	広目屋	慶長五年(一六〇〇年)上杉軍の智将・直江兼続が、出羽へ進軍。狙われたのは、東軍の要・最上義光。死闘の舞台は、最上家存続をかけた不落の長谷堂城。慶長出羽合戦は、単なる地方戦ではない。「北の関ヶ原」とも呼ばれる程、関ヶ原の戦いの勝敗にも影響を与えた、もう一つの天下分け目の戦いだったのだ。